月刊「理念と経営」創刊、「理念と経営」経営者の会設立

10周年記念全国大会 開催

二〇一五（平成27）年一一月八日、東京・東陽町のホテルイースト21東京で、一〇周年記念の全国大会が盛大に行なわれた。「経営・教養・感動」というテーマのもと、全国から約九〇〇人の経営者が参加。王道の経営、理念経営の浸透への決意を新たにした。

記念講演

素直な心

谷井 昭雄氏　パナソニック株式会社　特別顧問

なぜ、我々は「志」を抱いて生きるのか

田坂 広志氏　多摩大学大学院教授

くちびるに歌を持て 心に太陽を持て

小檜山（こひやま） 博（はく）氏　作家

突然、季節はずれのセミの鳴き声に会場が包まれた。正面のスクリーンには、幸之助翁が眠る松下家の墓石が映し出される。

――焼け付くような陽差しの中、黙々と墓を磨く女性がいた。「生前、社長にお世話になったのよ」と言って笑った。我々は誓った　絶対に成功させる！――大きな文字が躍る。

小誌の創刊ならびに「経営者の会」設立の原点から一〇年の歩みを紹介する映像が流れ、会場を埋めた九〇〇人を超える参加者の気持ちが一つになっていく。

髙橋勇実行委員長が高らかに「開会宣言」をし、木野親之大会会長が挨拶（あいさつ）を終えると、待望の講演がはじまった。

パナソニックの谷井昭雄特別顧問が松下幸之助創業者から受けた教えの数々を語り、多摩大学の田坂広志教授は〝いまこのとき、この一瞬〟を精いっぱい生きることの意義と意味を掘り下げた。作家の小檜山博先生は、自らの来し方を通し、人と人の心をつなぐ言葉のもつ力の大きさを静かに訴えた。

大島修治大会委員長の謝辞に続き、小誌発行人である田舞徳太郎代表の「さらなる中小企業の活性化を目指していく」という強い決意の挨拶で締めくくられた本大会。終了後、会場のそこここで「とてもいい話を聞けた」「明日から、またがんばります」などと一様に上気した参加者たちの声が聞かれた。

それは二部の懇親会でも同じだった。来賓挨拶、乾杯に続く歓談の時間。互いに旧交を温め、情報交換をするなかでも自然と話題は講演の感想に移っていくようだった。それだけ、自分の人間力を磨き、人を大事にし、さらに王道の経営をやっていこうという決意にあふれた大会となった。

会の最後。背戸逸夫編集局長は、かつて南アフリカのマンデラ大統領が来日したときのインタビューで、「どんな状況に置かれても希望はあるのです」と語った大統領の言葉を紹介し、「いわばこの一〇年は、その思いを誌面にいかにして表すかの挑戦の一〇年だったと言えるかもしれません」と語った。この言葉は、不透明で厳しい時代状況の中で経営を続ける経営者たちの深い共感を呼んだ。

天竜精機株式会社
取締役
芦部喜一氏

中小企業の人々は、大きな可能性を秘めている。大企業に比べて練習不足なだけ。管理職がリーダーシップをとったり、人と話すなどのトレーニングを積めば、生産性も上がるし、幸せの総和も高まる。「理念と経営」の役割は大きいと思います。

丸善
丸の内本店店長
壹岐直也氏

心のこもった言葉が人を変える。そういう言葉が「理念と経営」にはある。

七福醸造株式会社
代表取締役会長
犬塚敦典氏

「理念と経営」から立ち現れる「お役立ちの心」「経営は金儲けではない」「何のために生きるかを考えよ」という精神が自分の経営姿勢と重なります。自分の考えを次につなげていくためにも、今後、こうした会に二人の息子を連れてこようと思います。

株式会社寺子屋
代表取締役社長
海蔵講平氏

一言、元気が出る大会だった！ 社長の気持ち次第、覚悟次第で何とでもなる。そう確信しました。社員を幸せにすることこそ社長の仕事。これからも頑張って、自社をいい会社にしていきたい。

会場入口では地区会長の皆さんが揃って来場者をお出迎え

「経営者の会」全支部長を代表して感謝状をお受け取りいただいた山寺法和さん（韮崎本町運送株式会社）

（左から）髙橋明希さん（株式会社武蔵境自動車教習所）、飯田祐里華さん（七福神グループ 社会福祉法人天祐会）、山之上道廣さん（株式会社ミヤザキ）、松岡美江子さん（マツオカ建機株式会社）に、勉強会への積極的な取り組みに対して感謝状が贈られた

作家・精神科医
加賀乙彦氏

「理念と経営」がこれほど熱心に読まれ、啓発活動が広く行なわれていることや、九〇〇名近くが一堂に会したにもかかわらず、見事にまとめられていたことに驚きを感じた。また、経営者の方々の真面目さ、素直な思いにも触れ、共感を覚えました。

歴史家・作家
加来耕三氏

日本の骨幹を担っているのは中小企業です。その中小企業が一〇年前に比べどんどん減っています。最大の理由は「理念」がないからだと思うのです。「何のために経営をしているのか」「いかに従業員とその家族を守るのか」という意識をしっかりもっておられる経営者の方が少ないのではないでしょうか。しかし、この会に参加しておられる中小企業の皆さんは、理念と夢をしっかりおもちです。だからこそ「理念と経営」は、掲げた「理念」をもっと広く世間に知ってもらうべきだと思います。

TOTO株式会社
相談役
木瀬照雄氏

小檜山先生の講演に感動しました。皆様の講演そのものが、私がいつも思っていることや考え方と本当に一致して、わが意を得たという感じがしました。また、政府から何度も表彰され、日本の女性を引っ張っていくようなパワーを感じる女性経営者も参加されていて、この会の凄さを感じます。

太成学院大学
経営学部長
釣島平三郎氏

日本を支えているのは中小企業であるということを改めて感じた大会でした。活気にあふれ、元気になることができた。この活動が広がれば、日本はもっとよくなるはず。

老舗学研究会
共同代表
前川洋一郎氏

八〇年代の、あの輝かしい日本型経営の時代が凝縮されたようなエネルギーを、この大会に感じました。企業のコンプライアンスが問われる時代だからこそ、ますます「理念と経営」の価値が高まると思います。全国の中小企業のためにも、より一層頑張ってほしい。

株式会社サンヨネ
代表取締役営業本部長
三浦和雄氏

日本を支えるのは政治家ではなく企業の人々。社会全体をよくしていくための使命を自覚することが大切です。「理念と経営」はその道標になると期待しています。

株式会社みらい蔵
代表取締役社長
山村惠美子氏

たくさんの経営者の方々がこれからの経営を真剣に考えている姿に感動しました。人口減少、高齢化、雇用の難しさ……。時代の流れは変えられませんから、経営者同士が情報を出し合って会社を時代に合わせていくことが求められています。

（50音順）

撮影 箱崎慎一

株式会社日本レーザー
代表取締役社長
近藤宣之氏

会全体の空気、講師の方々のお話のすべてに感動いたしました。企業経営には経営者の確固とした理念が大事であって、それをいかに社員の隅々まで浸透させて力として経営していくか。いわば経営理念が徹底している企業では、いざというとき社員の底力が出るわけです。今、円安によって苦境であるわけですが、当社は理念の徹底によって、おかげさまで二二年連続の黒字経営を達成でき、皆様方に感謝しております。

ストラバック株式会社
代表取締役会長
下島敏男氏

これだけの熱意やエネルギーがあれば、日本は大丈夫、心配ないと強く感じました。会社は、おカネを稼ぐことだけが目的じゃない。人のため、社会のために、今後も努力していかなければと思います。

東邦レオ株式会社
代表取締役社長
橘　俊夫氏

素晴らしかった！ 三人の講演がありましたが、それぞれ単独で聞いてもいいくらい充実した内容でした。三者三様の講演でしたが、根本は一つ。それはちょうど自分がいま求めているものと一致していたので、自信がもてました。